

令和2年6月市議会 教育厚生委員会資料

所管事項調査に係る資料②

目次

- 1 全天候型子ども遊戯施設基本計画について…………… P1～7 及び別冊
- 2 待機児童数について（報告）…………… P8
- 3 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う
特定不妊治療助成の対応について…………… P9
- 4 令和元年度指定管理者制度の状況について…………… 別冊

こ ども 部

令 和 2 年 6 月



1 全天候型子ども遊戯施設基本計画について

(1) 施設の概要

ア 施設の主な利用対象者 乳幼児から小学生まで

イ 施設の機能

(ア) 遊び場機能

- a 十分かつ適切な広さをもつ室内の遊び場空間の整備
- b 子どもの好奇心や想像力を掻き立てる魅力的な遊具の設置
- c 体全体を使って遊べる大型遊具の設置
- d ユニバーサルデザイン遊具の設置
- e 発育段階に合わせ、子どもが安心して遊べるゾーニングの設定
- f 自然の豊かさや四季の移ろいを感じながら遊ぶことができる、半屋外の遊び場空間の併設

(イ) 休憩・交流機能

- a 保護者が子どもの様子を見守りながら休憩や交流できるスペースの設置

(ウ) その他の機能

- a ベビーベッドや授乳室、オムツ替えスペース、ベビーカー置場を設置するなど、乳幼児を持つ保護者にもやさしい施設
- b 多目的トイレを設置するなどバリアフリーに配慮した施設
- c エントランス付近に、子育て支援情報などを発信できるスペースの設置

ウ 施設の設備等及び規模

機能	区分	設備等	規模
遊び場機能	0-2歳	・木製のボールプール ・木製の積み木 など	約 1,500 m ²
	3-5歳	・大きな積み木、箱 ・ブランコ ・滑り台 など	
	小学生	・ボルダリング (低・高学年用) ・トランポリン (低・高学年用) ・ネット遊具 など	
	障害児	・体を揺らす遊具 (ハンモックやブランコ) ・ぶら下がったり、しがみついたりする遊具 など	
休憩・交流機能	共通	・多目的室、休憩・食事スペース、見守りスペース など	
その他の機能	共通	・授乳室、多目的トイレ、乳幼児用トイレ、おむつ替えスペース、シャワー室、救護室、トイレ、管理室、倉庫、機械室 など	

エ 施設の建設場所（別紙1「街のエリア整備イメージ図」参照）

既存の資産を最大限に有効活用する必要があるため、現在の施設等の配置や市民等の利用状況などを踏まえ、「街のエリア」の「賑わいのゾーン」に建設する。

オ 施設のゾーニング（別紙2「空間概念図」参照）

子育て関係団体や専門家の意見を踏まえ、安全性の確保、子どもの体力や好奇心など年齢に応じた空間としたいため、次の（ア）～（ウ）のとおり、子どもが安心して遊べるゾーニングとしている。

（ア）0～2歳児（乳幼児）・障害児

子どもの遊び場（自然素材中心の空間、安全・安心感のある空間）や親子が一緒にくつろぐ空間

（イ）3～5歳児（園児）

子どもの遊び場（ごっこ遊びなど静かな遊びと滑り台やブランコなど体を動かす遊びが合わさった空間）や親が子どもの見守りをできる空間

（ウ）小学生

体全体を使って思いっきり遊ぶ空間（ネット遊具、トランポリンなど大型遊具を設置）

カ 施設内の配置（別紙3「平面図（案）」、別紙4「イメージパース（案）」参照）

施設内のゾーニングを基に、利用者の動線、親からの視認性、既存周辺施設へのつながりなどを重視した現時点の平面図等は、別紙3、4を想定している。

なお、令和2年度の実施設計において、今回の平面図（案）について、子育て関係団体や専門家と意見交換を行い、必要な見直しを行いながら実施設計を完了させることとしている。

(2) 建設費（概算額）

ア 施設建設費	736,200 千円
イ 遊具整備費	135,000 千円
ウ 外構工事費	69,120 千円
合計	940,320 千円

(3) スケジュール（予定を含む）

令和元年度	基本計画策定
令和2年度	実施設計、土質調査、解体工事（～令和3年度）
令和3年度	建築工事（～令和4年度）

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基本計画	■			
実施設計		■		
土質調査		■		
解体工事			■	
建築工事等			■	■

■街のエリア整備イメージ図

別紙 1



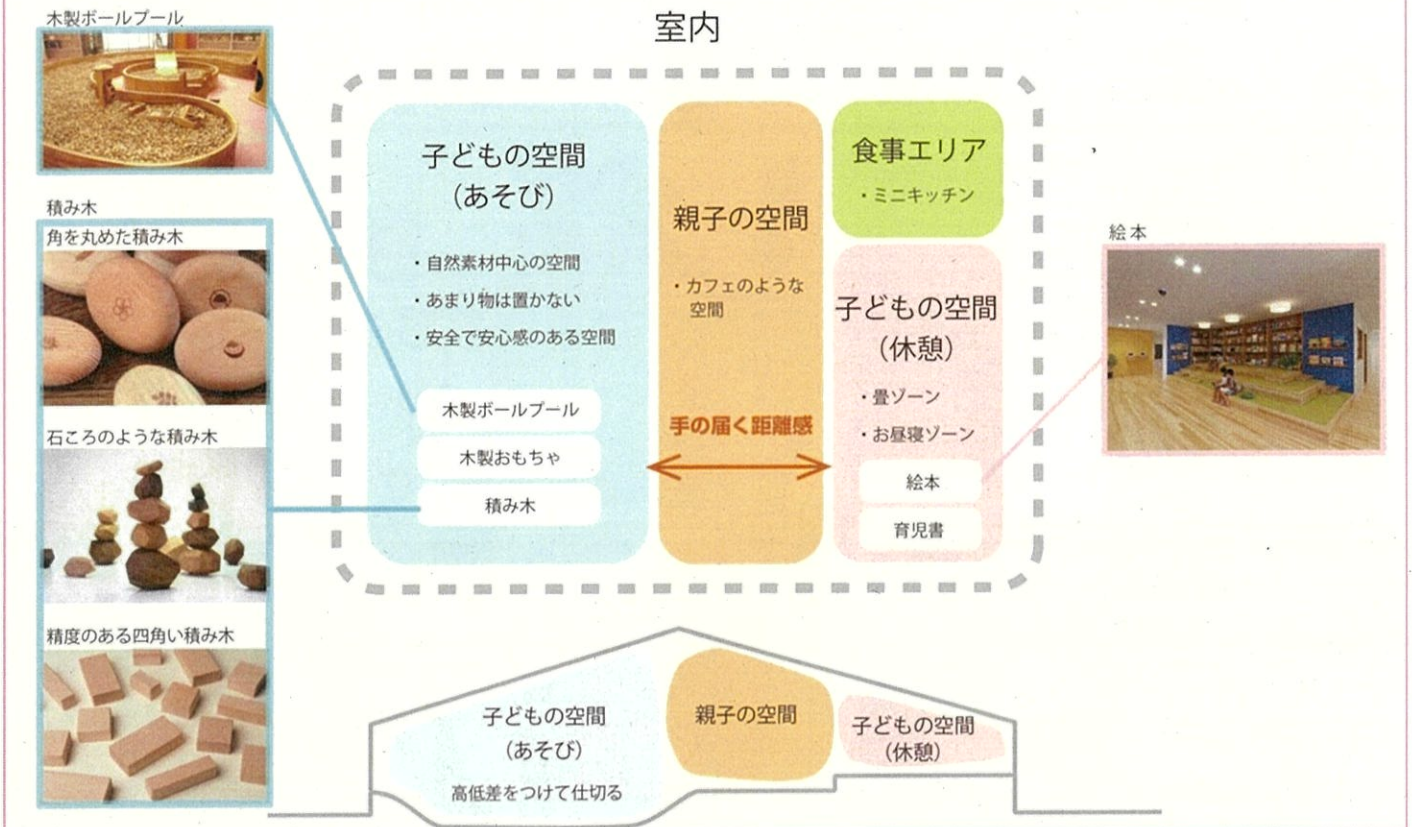
施設のコンセプト

子どもが思いっきり遊びながら成長できる施設

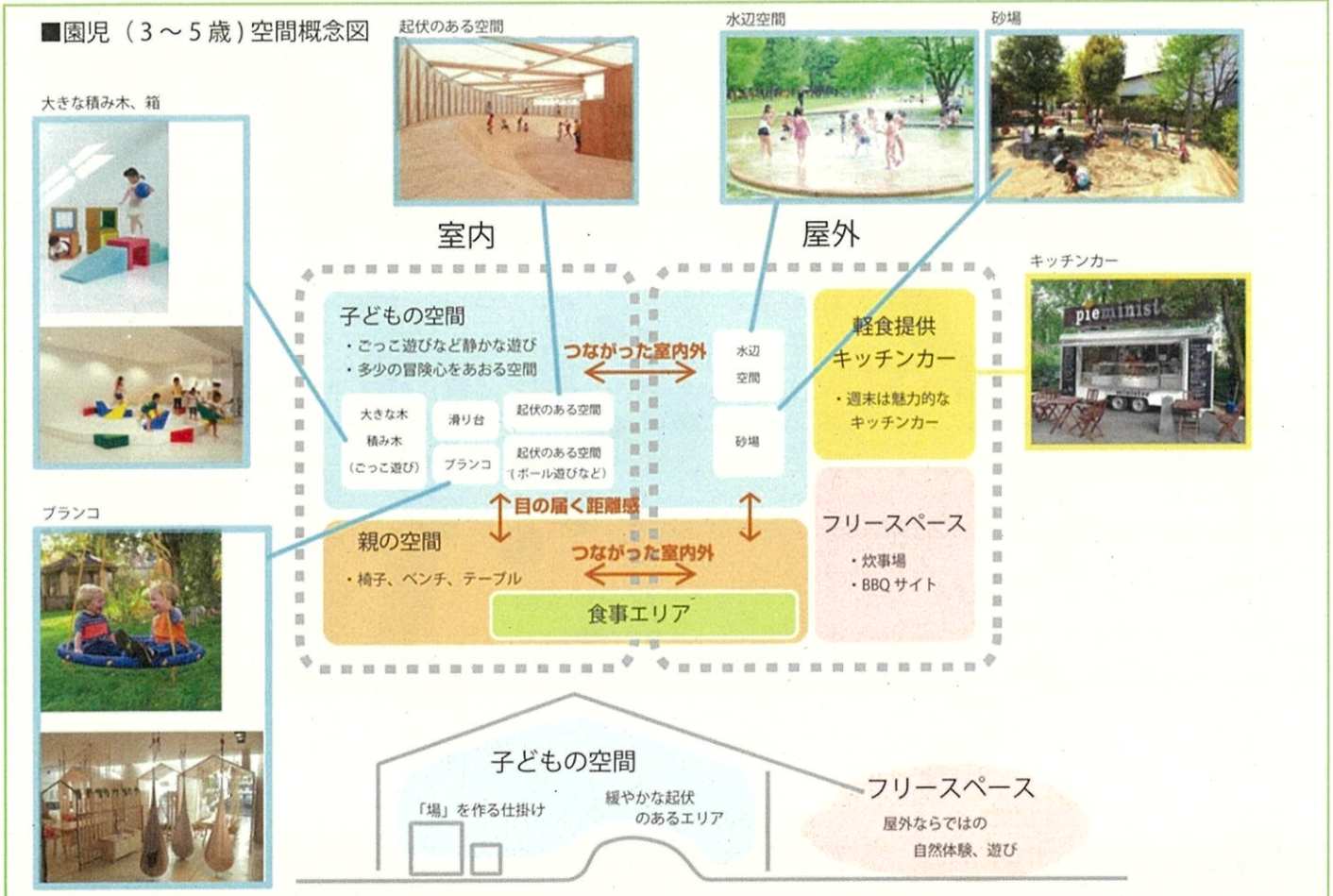
- 子どもたちが「ワクワク」し、何度でも挑戦したくなる遊戯空間
- 風や光を感じ、季節を体感できる遊戯空間

■空間概念図

■乳幼児 (0-2 歳) 空間概念図



■園児 (3~5 歳) 空間概念図

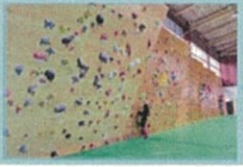


■小学生(6-11歳)空間概念図

フリースペース



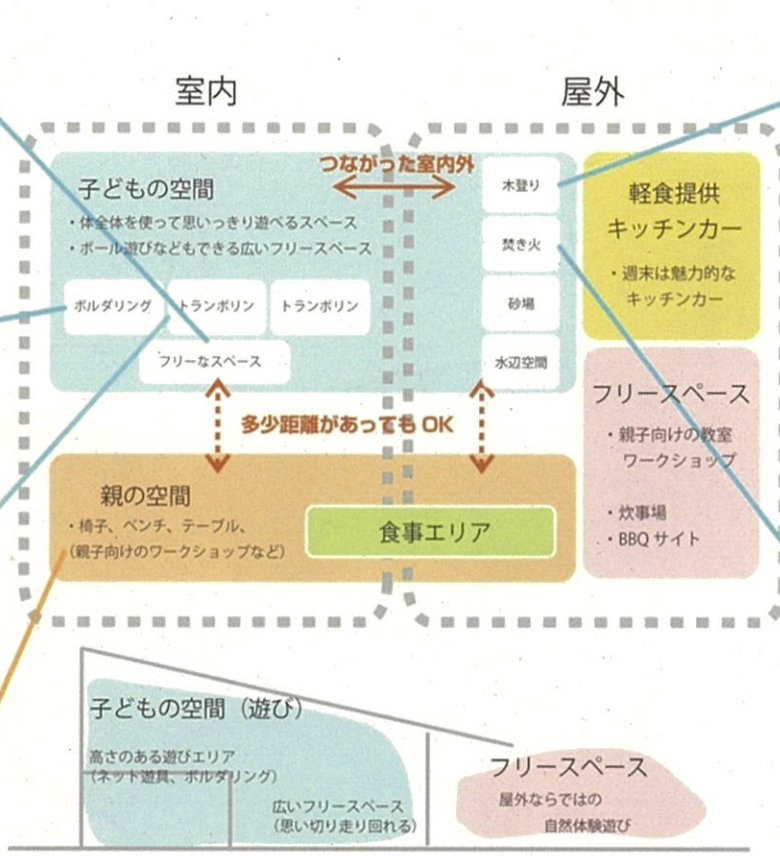
ボルダリング



トランポリン



ワークショップ



木登り



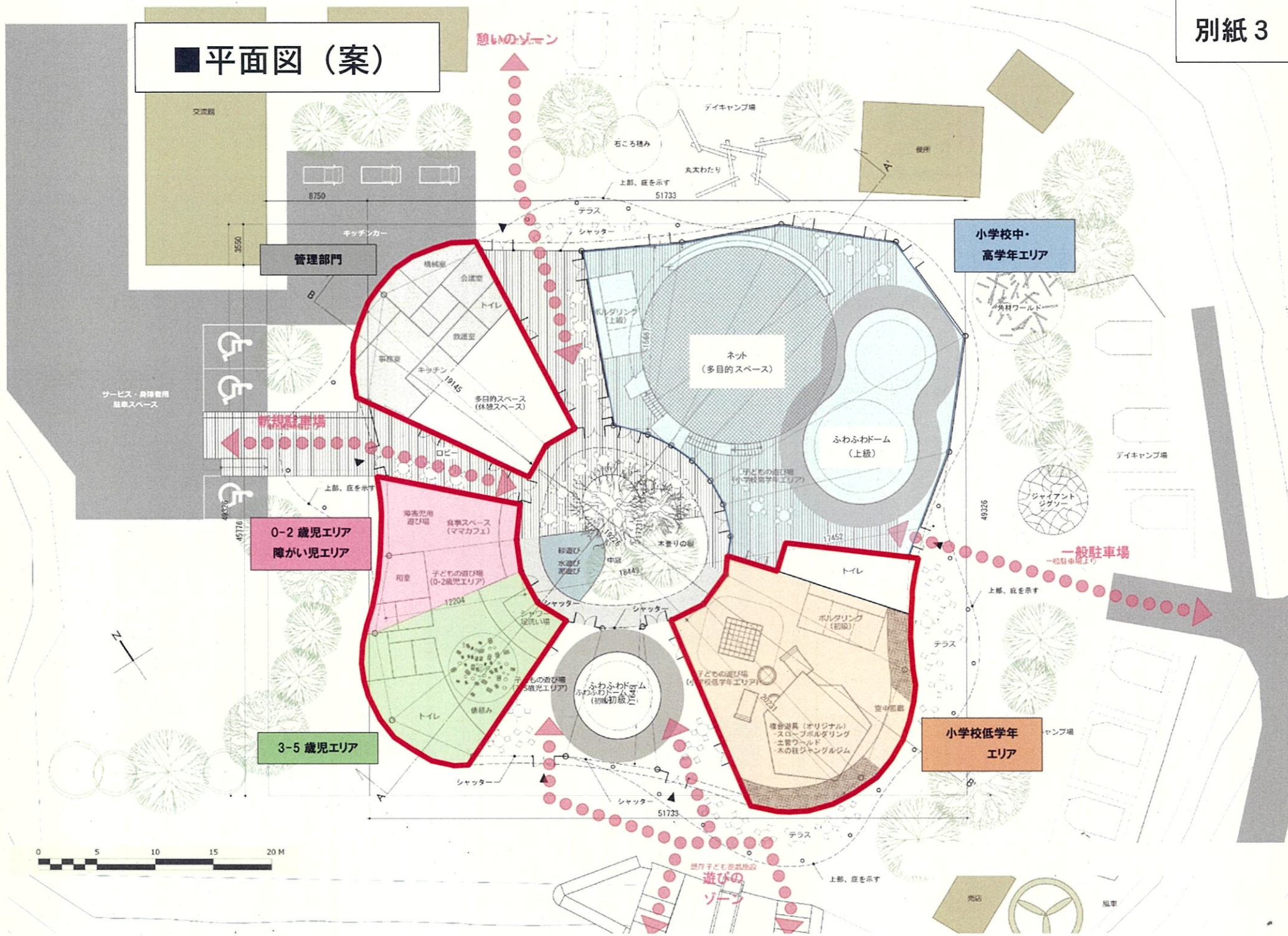
焚火



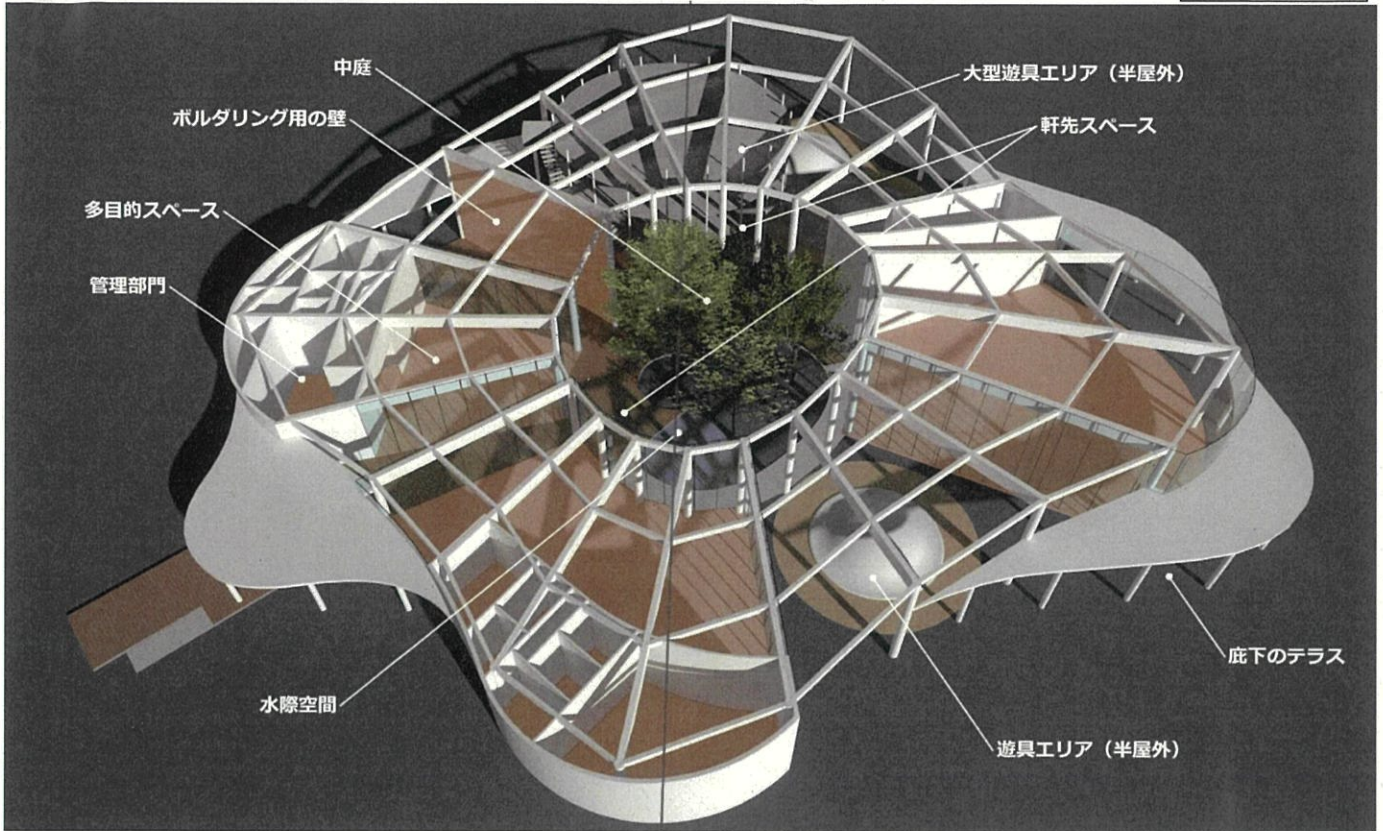
■空間関連/面積図



■ 平面図 (案)



■イメージパース (案)



2 待機児童数について（報告）

※令和2年4月1日速報値

(1) 国待機児童・総待機児童の各人数 () 内は昨年度の人数

ア 国待機児童(※1) 0人(0人)

イ 総待機児童(※2) 90人(193人)

待機事由	人数
(ア) 他に利用可能な保育所等があるにもかかわらず、特定の保育所等を希望している	86
(イ) 企業主導型保育事業を利用しているが、認可保育所の待機を継続している	4
計	90

※1 国待機児童 国の保育所等利用待機児童数調査要領に基づいて算出した待機児童

※2 総待機児童 (ア)、(イ)等の理由で入所できていない待機児童

(2) 国待機児童が「0」となった理由

令和2年4月入所希望者の利用希望施設での入所調整を行った結果、157人が待機児童となった。その後、利用希望施設以外の入所可能な施設の情報提供を行った結果、国待機児童が0人、総待機児童が90人となった。

待機事由	人数
(ア) 他に利用可能な保育所等があるにもかかわらず、特定の保育所等を希望している	86
(イ) 企業主導型保育事業を利用しているが、認可保育所の待機を継続している	4
(ウ) 他の入所可能な施設を紹介し、入所決定した	18
(エ) 申請を取り下げた（幼稚園入園、転出等）	49
計	157

・(ア) + (イ) の90人については、(1)イ総待機児童の人数に含まれている。

